

本校のプールは、以下のような特徴があります。

- 空間が広く密になりにくい。
 - ・常時、吸気ファンと排気ファンにより全体の25%の空気が入れ替わるように換気が行われている。
- 湿度が高くウイルスが繁殖しにくい。
- プールの水は、塩素による消毒が行われている。
 - ・塩素濃度は上限値の1.0mg/ に近く、滅菌機により常に0.5mg/ 以上に保たれている。

しかし、指導の特性上、子どもとの距離が密接になったり浮具を共有したりすることによるリスクがあります。

そこで、より安全に学習を行うために、以下のような配慮を行います。

- プール内は、児童生徒の人数を制限し（大プール3人 小プール2人まで）密な状態を避ける。
- 更衣室は、換気ファンと併せてサーキュレーターを活用し、空気の循環を図る。
- 更衣室のベッドは、交代時に毎回消毒を行う。
- 教師は、プール用の塩化ビニル製の特性マスクを着用する。
- 浮具を活用し、できるだけ教師と子どもの顔の密着を避ける。
- プール内では、必要最小限の言葉かけにとどめ、会話を少なくする。
- 使用した浮具は、塩素消毒が行われているプールの水で除菌後、水道水で洗い流す。
- 朝・昼（給食時）・活動終了後、窓を開け換気を行う。
- 学習前には、教師も子どもも検温をおこなう。

